

# 北九州市環境未来都市

まち

地域や都市の中で人が輝く、賑わい・安らぎ・活力のあるまち  
～公害を乗り越えた経験と持続的に創造するイノベーションを活かして～



平成24年9月  
北九州市

# 1 『環境未来都市』構想とは



環境未来都市は「元気な日本」復活のための国家プロジェクトです。

## ●政府の「新成長戦略」のプロジェクトの一つ

- 限られた特定の都市・地域において、世界に類のない成功事例を創出
- 成功事例を国内外に普及展開

景気回復、雇用創出、国際的な課題解決力の強化を目指す

## ●人が中心の『誰もが暮らしたいまち』『誰もが活力あるまち』

- 生活基盤向上のため、環境・社会・経済という3つの価値が創造されるまち

### 環境価値

低炭素、水・大気環境、  
生物多様性、循環 など

### 社会的価値

健康、地域医療、介護、  
安全安心、子育て支援 など

### 経済的価値

安定な雇用・所得、新産業、  
更なる都市化 など

人々の生活の質を向上させることが究極的な目的

## 2 北九州市環境未来都市の選定



環境未来都市として将来に向けてまちづくりに取り組みます。

●平成23年12月22日に、北九州市が提案した「北九州市環境未来都市」が11地域の一つに選定されました。

### ◆選定結果

・選定件数:11件 (うち被災地からの選定件数:6件)

※提案件数:30件 (うち被災地からの提案件数:6件)

### <参考:選定都市>

#### 【被災地以外:5地域】

- ・下川町(北海道)
- ・柏市(千葉県)
- ・横浜市(神奈川県)
- ・富山市(富山県)
- ・北九州市(福岡県)

#### 【被災地:6地域】

- ・大船渡市、陸前高田市ほか(岩手県)
- ・釜石市(岩手県)
- ・岩沼市(宮城県)
- ・東松島市(宮城県)
- ・南相馬市(福島県)
- ・新地町(福島県)



選定書授与式の様子 (H24年1月)

### 3 なぜ、北九州市は応募したのか



「環境未来都市」等の制度を活用して本市のまちづくりを加速します。

#### 【理由1】 制度の活用により「緑の成長戦略」を加速できる

- 「環境」と「アジア」をキーワードに国内外の投資を呼び込み雇用を創出し、地域経済を活性化

#### 【理由2】 北九州市の「強み」を活用できる

##### ●環境分野における幅広い対応能力

- 再生可能エネルギーの導入、エネルギーの高効率利用などによるCO2削減
- アジアを中心とした途上国の環境改善への協力
- ゴミの分別収集やエコタウンなど資源循環への取組 など

##### ●どこよりも早く始めた高齢化社会への対応

- 人にやさしい「バリアフリーのまちづくり」
- 保健・医療・福祉・地域が連携した健康づくりへの取組
- 救急医療体制、リハビリテーション体制の構築 など

#### 【理由3】 市の情報発信力やイメージの向上が期待できる

- 市民が誇れる都市イメージに

# 4 環境未来都市提案内容



「誰もが暮らしたいまち」、「誰もが活力あるまち」の実現を目指します。

地域や都市(まち)の中で人が輝く、賑わい・安らぎ・活力のあるまち  
～公害を乗り越えた経験と持続的に創造するイノベーションを活かして～

エネルギーを  
大切に使う

ゴミが少ない  
きれいな街で暮らせる

役割をもち元気に  
楽しく過ごせる



身近な緑や水辺で  
安らげる

安心して子どもを  
育てられる

このまちで学び  
このまちで働ける

# 5 北九州市環境未来都市の特徴



主な特徴は、地域における自立的な展開を推進することです。

## ● 具体的な方向性

- ①これまで蓄積した「環境」の取組を将来のまちづくりに活用
- ②超高齢化(福祉分野)では、市民の日常生活に焦点を当てる
- ③「国際戦略総合特区」制度の活用
- ④東日本大震災被災地の復興支援につなげる

## ● 世帯や世代を越えた「地域の力」、「地域のつながり」の活用例

◆まちな森プロジェクト（環境首都100万本植樹・・・現在 約35万本植樹済H24.5）



子どもも参加した  
どんぐり拾い

- ・子どもを健やかに育む
- ・環境教育



社会的連帯感の回復  
(地域づくり)

市民による植樹



高齢者等による  
苗木づくり



- ・高齢者の知恵の活用
- ・元気な高齢者の増加
- ・街なかの緑化
- ・多世代交流

# 6 北九州市環境未来都市の取組



環境、超高齢化に対応するための取組を積極的に推進します。

## 環境

- ① 低炭素化・エネルギー
- ② 水・大気
- ③ 自然環境・生物多様性
- ④ 3R

## 超高齢化

- ① 地域医療
- ② 地域の介護・福祉
- ③ 子育て・教育

## 本市独自の取組

- ① 復興支援とリスクの軽減
- ② 国際環境ビジネス



## 低炭素・省エネルギー

### (1) 環境にやさしいエネルギーをつくる

- 風力発電、太陽光発電等  
再生可能エネルギーの導入拡大
- バイナリー発電、副生水素活用等  
多様なエネルギーの展開

### (2) エネルギーを賢くつかう

- 北九州スマートコミュニティ形成事業  
・蓄電設備や地域節電所等の設置  
・ダイナミックプライシングの実施

### (3) 環境にやさしい交通体系をつくる

- モビリティマネジメントの推進
- 自転車利用環境の向上 等

## ◆再生可能エネルギー等の導入と普及 (多様な次世代エネルギーが揃った都市)



響灘太陽光発電所



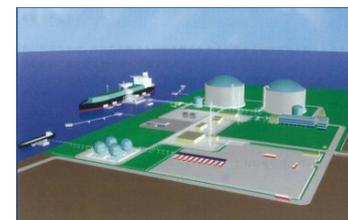
響灘風力発電所



石炭ガス化複合発電



水素ステーション



ひびきLNG基地



潮流発電

## 水・大気

### (1) アジアの環境を守る

- 戦略的環境国際協力の推進  
アジアの諸都市の大気、水等の環境改善  
⇒ 越境公害の解決

### (2) アジアの環境を守る人をつくる

- 実践的環境人材育成拠点の形成  
・環境専門人材の育成、  
・研修生の受入と専門家の派遣

## ◆戦略的環境国際協力

アジアでの環境国際協力の成果事例：中国大連市



1994年



現在

- 北九州市の国際協力
- 改善計画の策定
  - 環境研修員受入

国連環境計画 (UNEP) から  
「グローバル500」を  
大連市が受賞 (2001年)



## 自然環境・生物多様性

### (1) みんなで自然をつくる

- 環境首都100万本植樹（現在 約 35万本植樹済）
- 八幡東田グリーングリッド事業

### (2) みんなで自然を守る

- 里地里山の保全や利用
- 生物多様性、希少種の保全活動
  - ・日本最大級の響灘ビオトープ（広さ61ha）

### (3) みんなで環境を学ぶ

- 環境みらい学習システムの推進
  - ・環境首都検定（H23 受験者 1,878人）
- 環境修学旅行（H22 7校645名 ⇒ H23 12校974名）

## ◆豊かな自然を活用した環境人材育成

○環境みらい学習システム



## 3R

### (1) 資源リサイクルの拠点をつくる

- レアメタル等希少な資源の回収
- リチウムイオン電池、太陽光発電システム等  
新たなリサイクル技術等の開発
- 北九州エコタウンの海外展開

### (2) 3Rを積極的に進める

- 市民が一体となった3Rの推進

## ◆北九州資源リサイクル拠点の形成





## 地域医療

### (1) 身近な地域で健康をつくる

- 保健・医療・福祉・地域が一体で取り組む  
「生活習慣病予防及び重症化予防」
- 地域でGO!GO!健康づくり  
(H23 97校区で実施)

### (2) 地域の医療資源を活かす

- 救急医療体制、リハビリテーション体制の充実
- 障害児者の先進的リハビリテーションの充実

## ◆地域連携による健康の維持・向上

○地域でGO!GO!健康づくり



地域主体で、  
医師会等と連携して  
健康プログラムづくり



楽しく参加し、  
継続して実施

## 地域の介護・福祉

### (1) 自ら進んで「健康」をつくる

- 公園を活用した健康づくり、ふれあい花壇・菜園事業
- 年長者研修大学校 (H23利用者 73,211人)
- 生涯現役夢追塾 (H23卒塾生(累計) 274人)

### (2) 地域で見守り、支えあう

- 地域福祉ネットワーク北九州モデルの充実・強化  
・「いのちをつなぐネットワーク」事業  
(H23 地域会合への参加 26,019人、相談592件)
- 障害者相談支援体制の整備と地域支援

## ◆地域福祉ネットワークの充実・強化

○いのちをつなぐネットワーク

～ 地域で「見つける・つなげる・見守る」～





## 子育て・教育

### (1) 地域で子どもを育てる

- スクールヘルパー（H23延べ活動回数 104,350回）
- 経済界と連携した学校教育の充実  
（約140社が参加 H24.6現在）
- 子育てサポーター、育児サークル 等

### (2) 安心して子育てできるしくみをつくる

- 子育てふれあい交流プラザ（H23利用者 433,731人）
- 子どもの館（H23利用者 762,821人）
- 放課後児童ヘルパー、  
放課後ジュニアリーダープログラム
- 全国に先駆けた小児医療体制の充実 等

### (3) 子どもの「環境力」を育む

- 北九州環境みらい学習システム  
〔環境学習ツアー  
環境リーダーみらい塾  
学校・地域でのESD活動 等〕
- 環境教育の推進  
〔環境未来科の実施、  
ユネスコスクールの推進 等〕



## ◆地域との絆を結び、世代をつなぐ 教育の推進

- 子どもの教育を支えるスクールヘルパー日本一

### 地域と連携した学校運営



## ◆安心して生み育てることができる環境づくり

- 子育てに優しいまちづくり推進事業

### 地域ぐるみで子育てを支えるしくみを推進



市民センター  
等を拠点とした  
活動を支援



## 復興支援とリスクの軽減

### (1) 被災地の復興を支援する

- スマートコミュニティ創造事業の成果を復興に役立てる（岩手県釜石市）
- 地域が主体となった被災者の支援（「絆」プロジェクト北九州 等）

### (2) 災害に備える

- ディザスタリカバリ拠点の形成

## ◆震災被災地復興支援



スマートコミュニティの成果を釜石市に展開

## 国際環境ビジネス

### (1) アジアで稼ぐ

- アジア低炭素化センターの活用  
環境関連技術、水ビジネス等の展開
- 海外とのネットワークを活用

### (2) 人と技術で海外とつながる

- 海外人材の育成
- 国内外の多様な人材、技術の交流拡大

## ◆アジア低炭素化センター

インドネシア・スラバヤ市

中国・北京環境交易所



エネルギー  
ビジネス

リサイクル  
ビジネス

アジア  
展開

水  
ビジネス

環境負荷  
低減  
ビジネス

# 【環境】環境にやさしいエネルギーをつくる 身近な場所における省エネ・再生可能エネルギー導入



## ●身近な場所への率先導入



地域に身近な場所である  
全ての小中学校へ  
太陽光発電を導入



多くの人が集まる  
小倉都心・黒崎副都心で  
低炭素まちづくりを推進

## ●省エネ・再生可能エネルギー導入費用補助



### 市民向け支援

- ・太陽光発電、燃料電池導入補助
- ・住宅リフォーム補助



### 事業者向け支援

- ・省エネ・再エネ導入補助
- ・設備導入に関する融資

導入促進

環境にやさしいエネルギー導入  
環境負荷が低減

導入に伴う設置工事等が増加  
経済活動が活発化

# 環境 エネルギーを賢くつかう 北九州スマートコミュニティ創造事業

## (1) 北九州スマートコミュニティ創造事業の実施

### 地域エネルギーマネジメントシステムの構築

平成24年4月  
実証実験開始



## (2) 環境未来都市国内外発信拠点整備事業の推進

### スマートコミュニティセンター



### まちなか案内システム



## (3) 今後の展開

### 国内展開

市内城野地区、岩手県釜石市などへ  
事業の成果を展開



### 海外展開

アジア地域をはじめ海外へ  
事業の成果を移転



# 【超高齢化】自ら進んで「健康」をつくる ふれあい花壇・菜園事業（まちの森プロジェクト）



Green Frontier  
環境未来都市 北九州市  
©Hetan, City of Kitakyushu

P14

## ●未利用市有地や公園の一部を有効活用

**無償で地域の自治組織に市有地を貸出**

平成24年度  
事業開始

花壇・菜園等として利用

平成24年6月9日  
八幡東区東台良町で  
第1号モデル事業を開始

街なかの  
緑を増加

高齢者の  
健康づくり

高齢者の  
生きがいづくり

多世代交流  
地域力UP



※花壇利用のイメージ



八幡東区東台良町での活動の様子

# 【超高齢化】地域で子どもを育てる 経済界と連携した学校教育の充実

## 経済界と連携し、 地域を挙げた学校教育の充実を図るまちに！

企業人による小学校応援団  
約140社が参加

平成24年度  
市内11校で  
モデル実施

平成24年6月7日に  
中井小学校で取組みを開始

平成25年度以降  
対象を全小学校  
へ拡大



小倉北区中井小学校の出前授業の様子

### 《学校応援プロジェクト》

- 社員のPTA参加を促す環境整備
- 親学推進(子育ての責務やその楽しさを学ぶこと)
- 児童の社会体験学習への支援・協力
- 講師派遣(校長・教頭向けリーダーシップ研修など)
- 小学校への出前授業 など

# 【環境】 先進的モデルとなる未来のまちをつくる グリーンショールームの整備



Green Frontier  
環境未来都市 北九州市  
©Teitan, City of Kitakyushu

P16

## 「持続可能なまち」に必要な3要素(自然・低炭素・資源循環)が揃ったまちづくり



PR・学習拠点施設:  
北九州エコタウンセンター

- 市民・企業
- 国内外の都市

発信

参加

- 市民・NPO・企業  
植樹会等の緑化活動

響灘ビオトープ  
(緑の回廊づくり)  
【自然共生】



響灘ビオトープ

低炭素・資源循環・自然共生の  
PR・学習拠点施設

次世代  
エネルギーパーク  
【低炭素】

- エネルギーパーク参加企業  
9社10施設



風力発電施設

エコタウン  
【資源循環】

- エコタウン参加企業  
28社29事業所



自動車リサイクル工場

連携

- 研究機関等  
北九州学術研究都市  
アジア低炭素化センター ほか



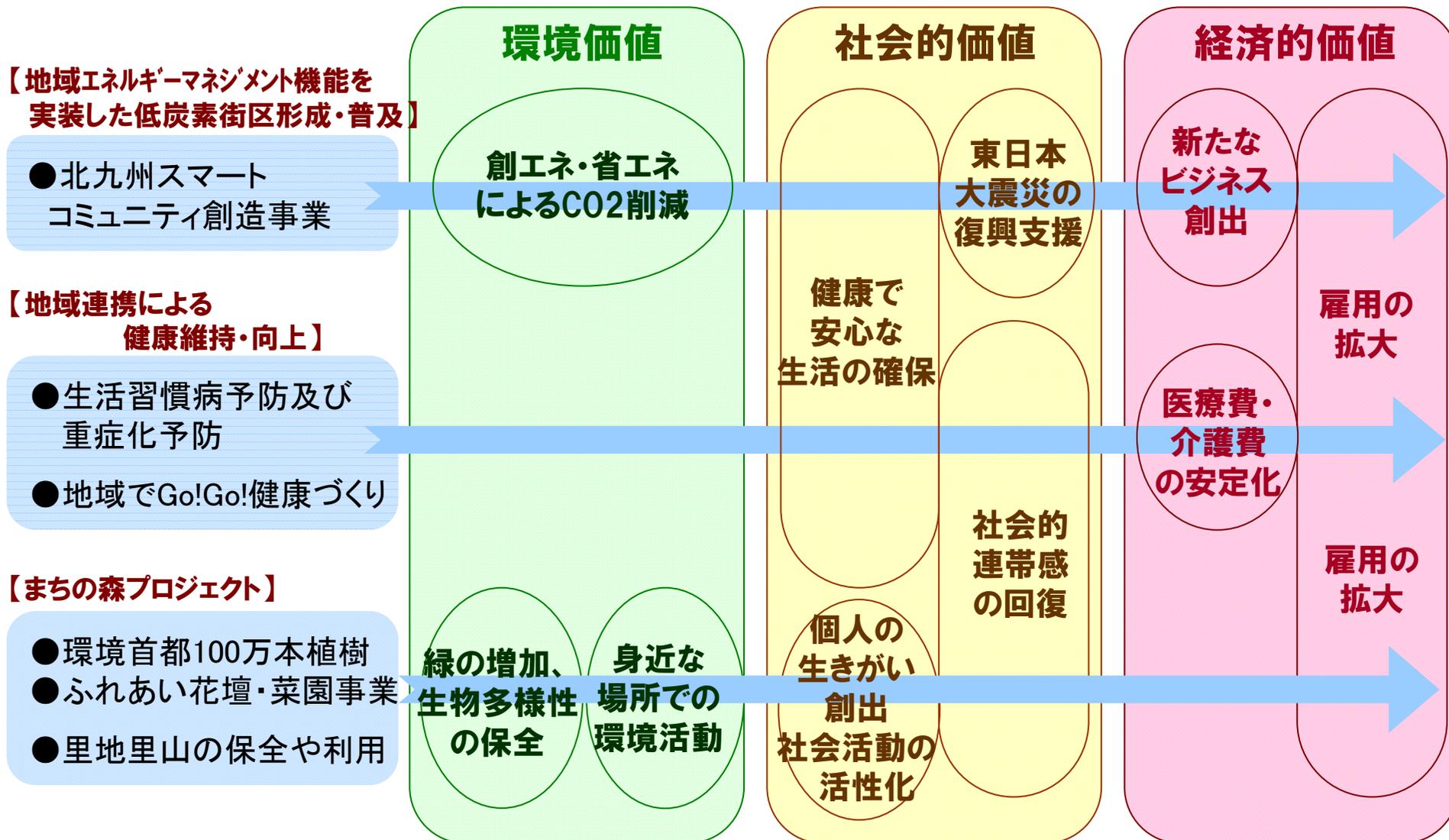
家電リサイクル工場

# 7 取組が創造する様々な価値



一つの取組が、様々な価値を創造し相乗効果を発揮します。

## ◆創造する様々な価値の例



## 8 最後に



住民・企業・行政など、まちが一丸となり将来に向かってチャレンジ。

- 環境未来都市も国際戦略総合特区も都市づくりの手段のひとつ
- 選定が目的ではなく、活用が大事
- 「緑の成長戦略」を実現



OECDから「グリーン成長モデル都市」に選定(H23年7月)



「ていたん」を環境未来都市PR隊長に任命(H24年1月)

【お問合せ先】

北九州市総務企画局政策調整課

TEL: (093)582-2156

FAX: (093)582-2176



## 記念キャッチフレーズ

結び合う ちから 未来へ 響きあう

## 記念ロゴマーク



結び合う ちから 未来へ 響きあう